

解説

DMOとは、Destination Management Organizationの略で、Destinationは目的地や到着地を表しますので、観光地側の司令塔組織を意味します。観光立国として受け入れ先の観光地自身の積極的な対応も欠かせないことから、観光庁は全国の観光地にDMO設立を推奨してきました。

このたび小樽観光協会が小樽DMOの旗振り役を担い、2021年3月に「候補DMO」に承認され、今後「登録DMO」となることで正式なDMOとなります。「登録DMO」が目指すのは、小樽観光ビジョンに向けて魅力的な地域づくりや市場開拓ですので、その一つとして、只今小樽で売出し中の「おタテ」についてのシンポジウムを開催します。

令和3年 **12月11日** 土 16:00~17:30

会場 小樽経済センター 7F
大ホール

参加無料

参加申込 事前予約となりますので
下記宛てにお申し込み下さい。

定員80名

ご来場の参加者にお土産(おタテ水産加工品)贈呈!!

コロナ対策として、机一つに一人として定員80名です。
当日はマスク着用と入口で検温および手指の消毒をお願いします。

次第

主催者挨拶 久末 智章
(小樽ホタテブランド化推進プロジェクト実行委員会 実行委員長)

基調講演 「北海道のホタテガイと養殖漁業について」
宮園 章氏 (北海道立総合研究機構 水産研究本部企画調整部 専門研究員)

パネルディスカッション
中村 貞夫氏 (中村漁業部、小樽ホタテブランド化推進プロジェクト実行委員会 副実行委員長)

兼崎 義明氏 (ノイシュロス・オペレーション株式会社・ホテルノイシュロス小樽 代表取締役)

斉藤 哲治氏 (株式会社たるしえ 代表取締役社長)

田宮 昌明氏 (小樽水産加工業協同組合 専務理事)

梅津 真平氏 (株式会社小樽水族館公社 参与)

ファシリテーター

高野 宏康 (小樽商科大学グローバル戦略推進センター、小樽ホタテブランド化推進プロジェクト実行委員会 事業推進ディレクター)

開会

ご予約・お問い合わせ先 小樽観光協会 林まで

Fax 0134-23-0522

E-mail info2007@otaru.gr.jp

※ご予約時には「お名前」「所属企業・団体名」「電話番号」をお知らせください。

- ◆主催：小樽ホタテブランド化推進プロジェクト実行委員会
- ◆共催：一般社団法人小樽観光協会
- ◆後援：小樽市、小樽市漁業協同組合、NPO法人 OBM

「おタテ」による 小樽活性化の可能性

小樽祝津産ホタテの
六次産業化を目指して



小樽ホタテブランド化推進プロジェクト実行委員会 &
一般社団法人小樽観光協会観光地域づくり法人(DMO)形成連絡会議・地域部会
小樽まちづくりコミュニティ

テーマ

小樽祝津地区では、昭和57(1982)年にホタテ養殖の事業化に成功し、現在では漁獲量・漁獲高ともに市内漁業のトップ水準となっていますが、稚貝出荷が中心で地元で食べる機会のごく一部に限られ、小樽がホタテの一大産地であることは認識されていませんでした。この小樽産ホタテを「おタテ」としてブランド化していく事業が、令和3年度の観光庁域内連携促進事業に採択されたことをきっかけに、小樽の地域振興につなげる様々な取組が始動しました。本シンポジウムでは「おタテ」の特徴と魅力、小樽の観光資源としての活用について考えます。

- 1 小樽祝津産ホタテの特徴と魅力、特にホタテ養殖漁業の歴史と現状、課題等を分かりやすく説明する。
- 2 「おタテ」の販売提供体制整備、情報発信など、観光資源としての「おタテ」活用の可能性を考える。

HAMBURGER BOYSの
マチのウタ作ってイイっすか?

マチウタ第7弾の舞台は小樽市!
小樽といえば全国的にも有名な観光地!
しかし観光だけではなく
ホタテにとって重要な場所だった!?
その秘密が明らかになる!

小樽のおタテ?
おタテって何?

キミと、ずっと。
8uhb
ch

DON'T MISS IT!!

小樽市編 2021年12月26日(日) 15:50 放送



公式Instagramをはじめました! /

おタテ ~持続可能な養殖漁業の物語~

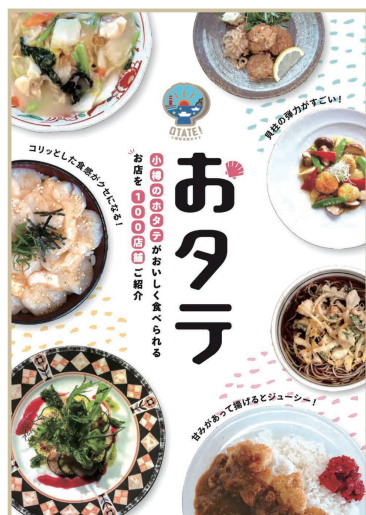
小樽のホタテを「おタテ」としてブランド化し、
販売体制の整備や情報発信などを通じて、
持続可能な地域資源として定着することを目指しています。
ぜひフォローお願いします!

#おタテ

@otaru_otate



Follow Me!



申し込み用紙

お名前	(フリガナ)		

所属			
電話番号		E-mail	

お申し込み先

FAX 0134-23-0522

小樽観光協会
担当 林